

いわた  
文化財だより 第113号

磐田市教育委員会教育部文化財課 平成26年8月1日発行

目次

- 福田町史展示会  
「福田に生きる 花・鳥・魚・虫たち」・・・P1～2
- 民間信仰(2) 道祖神・・・P3
- 参加者募集  
かすりの着物で見付のまちを探検しよう・・・P4
- コラム 『お地蔵様の福引』 土井みのり・・・P4

まもなく開催!!

福田町史展示会

福田に生きる

花・鳥・魚・虫たち



コアジサシ

ハマエンドウ



ツマグロヒョウモン

“自然環境”や“生きもの”  
を調査しました

こんなテーマでご紹介します

- ◆身近な草花と海岸の植物
- ◆季節を彩る野鳥
- ◆いろいろな淡水魚
- ◆人の生活を取りまく  
“いい虫 悪い虫”

〔開催期間〕

平成26年 8月9日(土)  
～ 8月31日(日)

9:00～17:00

(休館日・・・月曜日・第2日曜日)

〔会場〕福田公民館 展示ホール

磐田市福田 1587 - 1

今回の町史展は、「環境変化と福田の生き物」を展示テーマに、写真パネルを中心に展示します。町史の調査の中で、調査員が「見つけた!」「これは皆さんにお知らせしたい!」ことをまとめましたので、ぜひご家族やお仲間でお越しください。

見どころをご紹介します

福田地区は、地区の中を多くの河川が流れ、豊かな自然環境の中にあります。また、太田川や仿僧川の河口付近には、福田のシンボルともいえる特有のハマボウの群落が見られます。世の中の環境が激しく変化する中、レッドデータブックに記載された生き物なども確認できました。

鳥



アオジ

花



ハマボウ

展示会でお見せする、生き物の写真、昆虫の調査方法の一部を紹介します。「田んぼでよく見かけるけど...」、「えー、そうだったの!!」という発見があるかもしれません。



ヒマワりに訪花した  
ネジロハキリバチ  
…県内の採集記録は2箇所



ナガサキアゲハ  
…南方系の蝶で、  
幼虫はみかんの葉を  
食べる



アオモンイトトンボ  
…太田川や豊浜の池など  
に生息

虫

魚

太田川を調査したところ、なんと98種類もの魚がいることが分かりました!



コンジキハゼ  
…生まれは鹿児島  
より南の南西諸島

わらまき調査



海岸の松にヘリコプターで薬剤散布した後に落下する昆虫調査

調査



ライトトラップ調査



第2回

どうそじん  
道祖神

日本には本来の宗教とは別に、民衆の間で生まれ育っていった神仏があります。6回に分けて、磐田市にあるこうした「民間信仰」を探す旅。今回は...道祖神。名前はどこかで聞いたことはあるけど、よくわからない神様ですよ。

実はこの道祖神、村を守る神でもあり、子孫繁栄を願う神でもあります。その名の通り道端の神様ですが、村のはずれで侵入者を防ぐ神という意味で「さいのかみ」（塞の神、塞=とりで、防ぐ）とも呼ばれます。地域によって呼び方も当てる漢字も異なるようです。北遠から長野県にかけての地域などでは男女が仲良く掘られた「双体道祖神」が有名ですし、山梨県では大きなまん丸の石を置く「丸石道祖神」が見られます。

磐田市には、中田(豊田地区)と敷地(竜洋地区豊岡)に見られます。中田の道祖神は一見普通の石仏と変わらないものですが、よく見ると上部に「祖神」と彫られているのが見えます。敷地の道祖神は守増寺の境内にありますが、もともとは個人宅にあったものです。男女と思われる神様2人が仲良く寄り添っているようです。

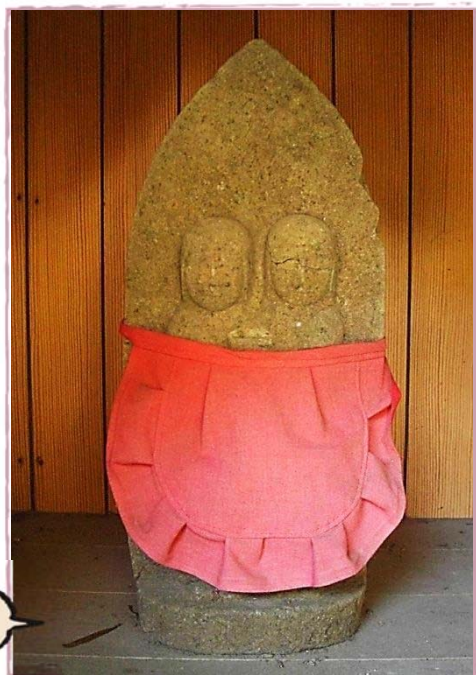
双体道祖神  
(浜松市天竜区水窪町)



丸石道祖神  
(山梨県笛吹市)



道祖神  
(中田)



道祖神  
(敷地)

## 旧見付学校

# かすりの着物で見付のまちを探検しよう!

- ★日時…平成26年8月21日(木) 午前9:00~11:45
- ★場所…旧見付学校周辺
- ★対象…小学生(市内外問わず) ★定員…30人(申込多数の場合抽選)
- ★参加費…500円(着物クリーニング代・当日徴収)
- ★持ち物…着替え用下着・タオル・筆記用具・水筒(飲み物)
- ★申込期限…8月10日(日)



《申込方法》申込用紙(旧見付学校・埋蔵文化財センター設置または市ホームページよりダウンロード可)に必要事項を記入の上、FAX または Eメールで文化財課へ申し込んでください。

かすりの着物を着て、見付のまちを歩くよ。商店やお寺をまわりながら、ボランティアさんの楽しいお話もきけるよ。新しい発見があるかも…

## コラム

### お地蔵様の福引

土井 みのり

8月の大(?)イベントといえば、福引。大原(旧福田町)のお地蔵様のお祭りには、福引が行われ、これは280年ほど前から続いているといわれる行事です。お地蔵様は延命地蔵で、享保15年(1730)に村人の総意により建てられたもので、当時疫病が流行しムラの存続の危機に陥りましたが、お地蔵様をお祀りしたところ、その猛威に歯止めがかかったと伝えられています。

地区のほとんどの家庭で、家族の数だけの福引券を購入するため、たくさんの福が引かれることとなります。今の景品はほとんどが日用雑貨ですが、昔は梨1個だったり…と色々なものが景品だったそうです。私が子供の頃は、婦人会の人たちの指導で、この日のために何日も盆踊りの練習をしたものです。当日は、子供たちが浴衣を着て集まり、大人も子供も輪になって盆踊りを踊りました。

今では盆踊りはなくなりましたが、供養の行事と福引は今も続いています。昔も今も、大きな福が当たった時は、持ち帰るのが大変と口で言いつつ、嬉しいものです。

このお地蔵様はイボ取り地蔵ともいわれ、供養祭のお線香の灰をつけるとイボが取れるといわれています。遠くからも、この灰をいただきに来る方がいるそうです。



龍法院参道脇にあるお地蔵様

文化財だよりを毎月楽しみにしてるという声をいただき、文化財課一同たいへん嬉しく、読者の皆様には感謝をしております。こんな記事を掲載してほしいなど、ぜひお声をお聞かせください。

発行：磐田市教育委員会文化財課  
(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538-32-9699  
FAX：0538-32-9764  
Mail：[bunkazai@city.iwata.lg.jp](mailto:bunkazai@city.iwata.lg.jp)

